Openet 5G Readyのデジタルビジネスプラットフォーム

4G から 5G へ、次世代モバイルネットワークへの移行を先進技術／ソリューションでフルサポート

Openetは、アイルランド・ダブリンに本社を置き、世界各国のTier1キャリア、MVNO事業者向けのポリシーコントロール＆チャージングプラットフォームを始め、サービスプロバイダがデジタルサービスから新たな収益源を創出し、顧客との信頼関係を向上させることを可能とする、デジタルビジネスプラットフォームを展開しています。５Ｇの移行に向けて、既存アーキテクチャの拡張やアジリティとコスト効率に優れたエンドツーエンドプラットフォームへの移行など、さまざまな最新のテクノロジーと方法を用いることで、お客様のビジネストランスフォーメーションと新たな収益源の創出を支援します。

デジタル OSS/BSS のリーディングカンパニーが提供するデジタルビジネスプラットフォーム（DBP）

Openet はデジタル BSS/OSS のリーディングカンパニーです。プラットフォームにとらわれず、リアルタイムの課金、ポリシー、メディエーション／データ管理の製品分野に関して 20 年の歴史を持っています。Openet は現在、日本市場において、新たな収益を生み出しデジタルチャネルを通じてビジネス展開する DX（デジタルトランスフォーメーション）化の実現と、5G への対応に向けた取り組みを強化・加速しています。

Openet が提供するデジタルビジネスプラットフォーム（DBP）の最大の特長は、マイクロサービス、クラウドネイティブ、データファブリックの活用を基軸に、デジタルプラットフォームを短期間で実現可能な点です。Openet は、エンドツーエンドの DBP として導入可能なソリューションを提供します（図 1）。サービスプロバイダはモジュール型で API ベースのアプローチを用いることで、最適なプラットフォームコンポーネントを選択し、必要に応じて新しいソリューションを追加できます。その結果、より迅速かつコスト効率の高い方法で DX 化を実現することができます。

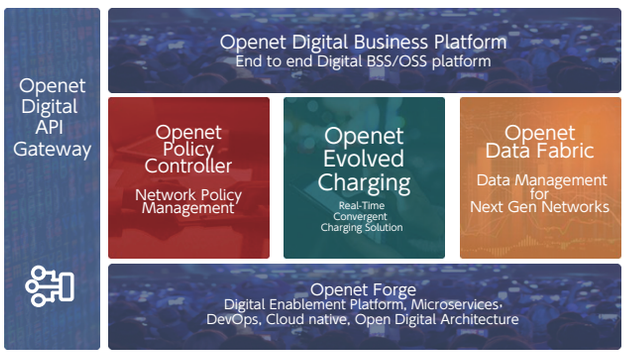

図 1　Openet のソリューション

また、Openet の DBP は、必要な機能を迅速に導入し、しかも独立してデプロイや管理が可能なマイクロサービス・アーキテクチャを採用しており、必要なマイクロサービスを組み合わせて最適なソリューションを迅速に構築することが可能です（図 2）。

・必要なマイクロサービスを組み合わせて最適なソリューションを迅速に構築可能
・Openetで事前にマイクロサービスの組み合わせをプリパッケージングしたソリューションも提供可能
　■ PCRF, OCS, PCC Solution, etc.
・マイクロサービス毎の機能追加ができることによって、ビジネスの急激な変化に対応できる。

図 2　必要な機能を迅速に導入するためのマイクロサービス・アーキテクチャ

5G Ready の Openet DBP

Openet の DBP は、5G 時代に通信事業者に求められる迅速な変化への対応力とコスト効率に優れた 5 G Ready のプラットフォームとして、以下に示すような進化を図っています。

① 4G から 5G へのスムーズな移行を支援するために、ビジネスコンポーネントを仮想化環境で再利用可能に新設計されたソフトウェアの提供

5G では、様々なビジネスとサービスに対応し、かつ増大トラフィックの増減に柔軟に対応できるようにするために、仮想化されたネットワークが前提です。Openet のソフトウェアは、単に 5G への対応だけではなく、4G のビジネスコンポーネントが再利用できるよう、クラウドとマイクロサービスにネイティブに対応しており、ネットワークスライスの中で必要な機能を切り出して再利用する等といった要件に対応することができます。

② 5G によって生まれる新たなビジネスモデル、DX への取り組み

5G によって飛躍的に向上したネットワークパフォーマンスは、数々の新サービスが生まれることが想定されています。Openet は、5G で変革する新サービスに向けて、それを支援するデジタルプラットフォームやビッグデータの関連技術を備えています。例えば IoT 分野でのユースケースは、4G とは異なり 5G では更に広範囲のビジネスサービスが可能となります。その中で、自動車向けのコネクッテッドカーのサービスは、通信事業者が注目するビジネスケースの 1 つです。

5G で注目を集めるコネクテッドカー・サービス

5G のハイスピード、超低レイテンシーの恩恵に加え IoT 分野のビッグデータ分析基盤関連技術の進化が相俟って、例えばビークルヘルスレポートや、セキュリティと緊急対応、保険通知といった車両制御や車両サービスなどが考えられます。

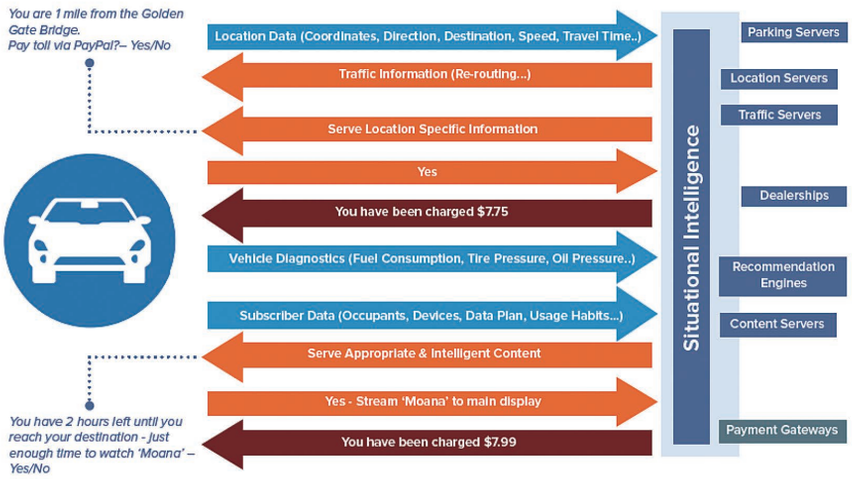

図 3　Openet のユースケース例：コネクテッドカー・サービスの課金例

コネクテッドカー・サービスの課金システムは、複雑な大量データを単一の課金システムに統合する必要があるため非常に複雑です。Openet のデータファブリックは、世界中のレコードフォーマットを標準化し、単一の課金プラットフォームに一致させることによってこの課題を解決します（図 3)。また、データファブリックは、マイクロサービス上に構築されており、オープン API により、クラウドにデプロイが可能です。

Openet は現在、北米を中心に Tier1 事業者と 5G 対応ネットワーク構築検討のディスカッションを行っています。ここでは、5G の標準仕様に準拠したポリシー管理やリアルタイムチャージングを始め、5G のネットワークで新たに機能として標準仕様に定められる機能部分も含まれています。また、チャージング機能に関しては 5G での事業者サイトにおけるトライアルも実施しております。

5 G の実用化と収益化に向けて、Openet は様々な側面でサポートします。

1999 年の設立以来、Openet は通信ソフトウェアの開発とイノベーションの最前線に立っています。最も進歩的で要求の厳しい世界中の最大手通信事業者と長期にわたって構築してきた関係こそ、Openet の成功の象徴です。

OPENET

お問い合わせ先
OPENET 〒 107-0061 東京都港区北青山 3-6-7 青山パラシオタワー 11 階
セールスディレクター：野村　info@openet.com　URL https://www.openet.com/openet_japan